

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年03月09日

計画の名称	清水町における住宅・建築物及び市街地の安全性の向上（防災・安全）														
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	清水町														
計画の目標	住宅建築物の耐震化や住宅市街地の防災対策を行うことにより、安全で安心できる住まい・まちづくりを実現する。														
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		36	A	27	B	0	C	9	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A＋B＋C＋D）		25	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28当初	H30末	H32末
1	住宅の耐震化率を上げる。 住宅土地統計調査等の統計データや事業実施状況をもとに算出する。 (住宅の耐震化率) = (耐震性が確保された住宅数) / (全住宅数) (%)	82%	%	95%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	清水町	直接	清水町	-	-	住宅・建築物安全ストック形成事業	わが家の無料耐震診断・町内全域	清水町	■	■	■	■	■	4		-	
	A16-002	住宅	一般	清水町	間接	個人	-	-	住宅・建築物安全ストック形成事業	耐震補強計画等、吹付アスベスト除去等	清水町	■	■	■	■	■	23		-	
											小計							27		
											合計							27		

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
住環境整備事業	C16-001	住宅	一般	清水町	間接	個人	-	-	木造住宅耐震補強助成事業	木造住宅の耐震補強	清水町	■	■	■	■	■	5		-
		旧基準で建築された木造住宅の耐震補強を実施する。																	
	C16-002	住宅	一般	清水町	間接	個人	-	-	ブロック塀の安全対策事業	ブロック塀除却・改善	清水町	■	■	■	■	■	4		-
		住宅・建築物の耐震改修とあわせてブロック塀の地震安全対策を実施する。																	
											小計						9		
											合計						9		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

町の担当課により評価を実施

事後評価の実施時期

令和4年3月

公表の方法

清水町ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

旧基準の木造住宅の耐震改修工事等に対して補助金を交付することにより、木造住宅の耐震化が進み、安全で安心できる住まい・まちづくりが促進された。計画期間内において、わが家の専門家診断が78件、既存建築物耐震診断が1件、木造住宅補強計画策定が25件、木造住宅耐震補強助工事が27件、木造住宅建替除却が25件実施された。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

ブロック塀の撤去・改善事業への助成により安全で安心できる住まい・まちづくりに促進に寄与した。

○特記事項（今後の方針等）

事業評価の結果を踏まえ、次期社会資本総合整備計画において目標を達成できるように事業を促進する。

- ・次期社会資本総合整備計画：清水町における住宅・建築物及び市街地の安全性の向上（防災・安全）
- ・計画期間：令和3年度～令和7年度
- ・目標：清水町における耐震化率の向上

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	清水町における耐震性が確保された住宅の割合		
	最 終 目標値	95%	木造住宅の耐震化は着実に進んでいるものの、高齢等を理由に耐震化に踏み出せない方が多く残っていることが要因と考えられる。
	最 終 実績値	89%	